

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス リズム東伊興		
○保護者評価実施期間	令和8年9月1日 ～ 令和8年9月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和8年9月1日 ～ 令和8年9月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年10月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの状況と家族の意向を踏まえた個別支援	日々の観察を職員間で共有し、面談や送迎時の対話を通じて支援計画へ反映している。全職員が中間評価やケース会議に関わり、共通理解を図っている。	職員変更時の引継ぎを丁寧に行い、計画の読み合わせと定期的な見直しを進める。
2	季節やこどもの状態に応じた多様な活動	活動担当を交代し、季節や下校時刻に応じて内容を工夫している。個別活動と集団活動を組み合わせ、選択できる機会も設けている。	活動担当者に負担が偏らないよう、職員が共同で立案する時間を確保し、安全面も含めて事前に確認する。
3	避難訓練や記録を生かした安全管理	定期的な避難訓練に加え、歩行活動に避難経路を取り入れている。事故につながりかねない事例を記録し、会議で共有している。	安全計画や各種マニュアルの周知を進め、こどもの特性に応じた個別の安全対策を保護者と確認する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数に対する活動空間と職員配置	事業所統合後、利用人数が増えた一方で、活動空間には限りがある。個別支援、送迎、事務が重なる時間帯は職員の負担が大きい。	利用人数と支援内容に応じた職員配置を見直す。活動区域を分け、机や備品の配置を工夫して安全な空間を確保する。
2	職員間の情報共有と支援方針の統一	統合後の支援方針や引継ぎに差があり、会議や振り返りの時間も十分に確保できていない。業務が一部の職員へ偏る場面もある。	支援前後の打合せ、計画の読み合わせ、事例検討を定例化する。接遇や適切な支援方法の研修を行い、管理者が実施状況を確認する。
3	家族支援と地域交流、情報発信	保護者会や家族向け研修、地域のこどもとの交流機会が少ない。安全計画や相談窓口など、取組が保護者へ十分に伝わっていない。	保護者の希望を確認し、家族参加型の企画や情報提供を進める。通信やホームページを活用し、安全計画、相談方法、地域との取組を分かりやすく伝える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス リズム東伊興

公表日 令和8年10月25日

利用児童数

31

回収数

21

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	5	1	4	人数が増えたので少し狭いのかな？と思いました。	基準上のスペースは確保しておりますが、テーブルを折りたたむ等して場所の確保を行いながら安全に活動を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	3	0	7	何人体制かみんないる時に見ないとちょっとわからないです。	配置基準以上の職員で支援を行っています。お子さまのご様子により手薄に感じることがあるかもしれません。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	4	0	3		入り口付近の段差は若干ございますが、昨年室内のリフォームを施しており、活動スペースの段差は解消されています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	2	0	4	活動の様子を見ていないのであまりわからない	調理活動を行うことを主活動と位置付けていますので、衛生面は特に気を付けています。また、テーブル配置を工夫しながら活動に合わせた環境づくりにこれからも努めます。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	4	0	2	東伊興に移ってから職員さんのほとんどが新しくなりまだ子供の性格や特性を把握しきれていない、子供自身もまた新しい環境に慣れてはいないのかなという印象です。	少しお時間がかかるかと思いますが、お子さまのペースに合わせてしっかりと関係性を構築し、安心安全に過ごせていただけるよう、また保護者の皆さまにも安心してお預けしていただけるよう、職員一同努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	2	0	1		支援プログラムにつきましては弊社HPにも記載がございます。ぜひご覧くださいませ。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1	0	2	これから初めて面談に行くのでその時にしっかりお話させて頂きたいです。	日々の活動のご様子や過ごし方等、お子さまのご様子につきましては送迎時などにもお伝えしています。面談時には、時間をいただいてより詳しくお話しをさせていただいたうえで、個別支援計画作成の経緯につきましてもお説明させていただいております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	2	0	2		合併したことにより、試行錯誤しながらよりわかりやすく設定できるように整理しております。様々なご意見をいただきながら皆様に納得いただけるよう善処いたします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	1	2		面談時の振り返りにてご意見を頂戴し、より実効性を持った計画が立てられるように努めます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	4	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	7	7		相手のあることですので、できるところからできる範囲で進めてまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	2	1	0	東伊興に移るが職員はそのまま残り前と変わらずに支援できるとの説明だったが移動して数ヶ月で西新井職員さんがほとんどいなくなってしまったことは残念。さらに今までなかった祝休日の送迎時間のバラつきが出てきて子供も私自身も非常にストレスになっている。	事業所移転後の職員体制や送迎時間の変更により、ご負担をおかけしたことをお詫び申し上げます。職員間の引継ぎと情報共有を徹底します。祝休日の送迎時刻は、可能な限り前日までに目安をお知らせし、変更時も速やかにご連絡します。
保護 者へ の説 明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	1	1		面談時に個別支援計画書のご説明をさせていただき、ご署名いただいております。情報が不足しておりましてら常時受け付けておりますので、ご連絡くださいませ。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4	5	4		情報提供につきましては個別の状況に応じてさせていただいております。まずはニーズの把握をしっかりと行い、一緒に勉強できる機会が提供出来たらと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	3	1	2	子供の利用希望の記入方法について私が知らずに間違えたことにより、何回も謝罪したにも拘らず、ある一名の職員による恫喝に近いバワハラがあり、それによって精神疾患が悪化してしまい、フラッシュバックを起こすようになった。(定期通院、服薬対応)	ご不安とご負担をおかけしたことをお詫び申し上げます。ご指摘を重く受け止め、関係職員への確認と管理者による対応を行います。経過研修と相談対応を見直し、再発防止に努めます。

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	10	3		個別の面談の機会は設けておりますが、全体としての保護者会の開催は保護者の皆さまと職員の勤務時間等の兼ね合いなどにより設けられておりません。祝日などを利用してご家族参加型のイベント等が今後企画できたらと思います。ぜひ、ご意見などお寄せください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	5	0	6		個別支援計画にも位置付けておりますが、お子さまに関することだけでなく、ご家庭での課題などについてのご相談も常時受け付けております。ご相談の内容に応じまして適宜、行政やその他の機関へつなげられるようにお調べいたします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	4		多種多様な生活様式がございます。できる範囲での対応をしておりますので、現状の状態で難しい場合、お申し付けください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	4	1	2		毎年、年度初めにご利用に関する連絡事項を配布させていただいております。また、月一回発行の通信におきましても日々のご様子に加え、情報の発信を行っております。SNSの活用はまだ充実しておりますが、少しずつ拡充してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3	0	6		必要なマニュアルにつきましては策定され、事業所にて閲覧いただけます。訓練につきましても職員研修などで定期的に行っております。周知方法につきましては検討して改善いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	0	5	障害のある子供達にとって、日々の積み重ねが重要だと思うので…定期的に避難訓練を実施して下さっている事に有り難く思います。 子供達を預かる！と言う責任感を持って下さってる事を強く感じています。 定期的に避難訓練をして下さるので、積み重ねが重要な子供達にはありがたいと思っています。	温かいお言葉、ありがとうございます。 年2回の定期避難訓練では近くの避難場所まで歩くだけでなく、様々な状況下での避難を想定して訓練を行うようにしています。加えて日々の歩行活動でも避難場所を通るルートを組み込んでいます。いざという時、まず職員が冷静に行動し、お子さまが安心、安全に避難できるように努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	3	0	3		安全計画は策定され、事業所にて閲覧していただけます。また、計画の周知方法等も工夫してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	3	0	2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	1	0	3	過去に2度程暴力を振るわれ負傷させられたり暴言を吐かれたりしたことのある児童が来る前日は、本人なりに対策を考えたり、不安になったり、夜中にうなされることがあります。	安心して通所できない状況が生じたことを重く受け止めています。関係職員で情報を共有し、活動場所、職員配置、見守り方法を見直します。個別の安全配慮についても、保護者と確認しながら対応します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	0	2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	1	0	この夏休みは、お迎えの時間が毎回何時になるかわからず、日によって9時半やその1時間後の10時半とかなりバラつきがありました。娘は時間の概念がまだよく分かっておらず、急いで準備させてずっと来なくて不安にさせてしまいストレスでした。送迎が事業所が遠くなった事で早く来られないのは仕方がないのかもしれませんが、準備するタイミングがありますのでできれば前日にだいたい何時に来られるか告知してもらえると助かります。	ご不便をおかけし、申し訳ございません。 合併に伴いまして送迎の範囲が広く、その日のお子さまによって送迎コースが変更になる場合がございます。道路事情によっても時間が大きく変わることも予想されます。できるだけ前日に送迎のお時間についてお知らせできるよう努めてまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス リズム東伊興			公表日	令和8年10月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	机や椅子を移動し、活動に必要な空間を確保している。	利用人数に対して空間が狭く、動く活動の安全確保と利用人数の見直しが必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	1	6		個別支援や送迎が重なる時間に人手が不足し、業務も一部職員へ偏っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	予定、座席、送迎車を掲示し、見通しを持ちやすくしている。	トイレ数が少なく、ロッカーの転倒防止と活動空間の確保が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	4	机やロッカーを消毒し、静かな活動に適した環境を整えている。	静かな活動と体を動かす活動を分け、安全に配置転換できる工夫が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	こどもの状態や希望に応じ、個別の場所を可能な範囲で確保している。	静養室の荷物を整理し、個別利用できる空間を広げる必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	6		統合後の方針統一と、報告・連絡・相談しやすい仕組みづくりが必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	保護者の意見を会議で検討し、評価結果を改善につなげている。	保護者評価の内容を全職員へ確実に周知する場が必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	会議や個別の聞き取りで、職員の意見を確認している。	意見を安心して話せる環境と、出た意見を改善へつなげる仕組みが必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	オンライン研修と集合研修を行い、他事業所との意見交換も実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	支援プログラムを印刷し、職員が閲覧できるようにしている。	支援プログラムを定期的に案内し、周知を高める必要。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	日々の観察を共有し、面談で保護者の見立ても確認している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	全職員が中間評価に関わり、ケース会議で共通理解を図っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	3	支援計画を職員が随時閲覧できる状態にしている。	計画を読み合わせる時間を確保し、職員任せにしない共有が必要。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	有効な支援道具を活用し、外部の評価結果も確認している。	絵カード等の活用と、事業所内で行う評価方法の整備が必要。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	地域利用や地域支援の機会を設けている。	安全を確保しながら、地域支援の機会を増やす必要。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	4	活動担当者が相談し、会議で内容を共有している。	活動担当者へ負担が偏らないよう、事前の相談と共同立案を増やす必要。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	担当を交代し、季節や下校時刻に応じた活動を組み立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	こどもの状態に応じ、課題や活動内容を調整している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	支援前の会議で、当日の内容を共有している。	長期休暇中も会議時間を確保し、役割分担まで共有する必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5	当日の記録を残し、翌日の会議で振り返っている。	支援終了当日の振り返り時間を確保する必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	利用予定表や事故につながりかねない事例を記録し、保管している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	4		定期的な確認と計画見直しの機会を安定して確保する必要。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2		統合後も関係会議への参加と情報共有を安定して行う必要。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	玩具や道具を自分で選べる時間を設けている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	管理者や児童発達支援管理責任者が関係会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	年間予定や下校時刻を保護者から受け取り、送迎調整に活用している。	学校での引渡し時に情報共有する時間が限られている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	必要に応じ、以前の利用先へ個別に情報提供を依頼している。	以前の利用先との継続的な情報共有を強める必要。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	自社内の移行では円滑に情報を共有し、外部にも要望に応じて提供している。	外部の移行先に先も、要望を待たず必要情報を共有する仕組みが必要。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	地域の発達支援室へ相談できる体制を確認している。	発達支援室から実際に助言を受ける機会を設ける必要。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	公園や児童館への外出機会を設けている。	地域施設を利用するだけでなく、他のこどもとの交流へつなげる必要。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		取組状況の理解に職員差があり、会議参加状況の共有が必要。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	送迎時、電話、メールで保護者から相談を受けている。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		自治体などからのお知らせは学校からも周知されているところである。重複しないように留意している。また、職員が家族支援についての知見を深め、今後の研修実施へとつなげるように努めたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	定期的な面談で、子どもと家族の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		保護者やきょうだいが交流できる機会を再開する必要。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	毎月の通信やSNS等を通じて、活動内容を発信している。	SNSの活用を継続しながらより迅速で細やかな情報発信ができる運用ができる体制づくりが必要。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	個人情報を鍵付きの収納場所で保管している。	氏名入り書類の廃棄方法を見直し、個人情報の扱いを再周知する必要。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	必要に応じ、翻訳や英語を用いて情報を伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		地域に開かれた取組を進め、内容を職員へ共有する必要。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	服薬や発作等の情報を保護者と共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	現在、食物アレルギー対応の対象となる利用者はいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	報告書をすぐ記録できるようにし、翌日の会議で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	虐待防止研修を実施している。	不適切と受け取られ得る言動を見直し、適切な支援方法を職員間で徹底する必要。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2		身体拘束に関する手順を再確認し、全職員へ周知する必要。